

## 【単元のポイント】

# 2けたでわるわり算の筆算

4年生 算数 第8単元

### 学習指導要領（平成29年告示）の目標

#### 【A 数と計算】 A(3) 整数の除法

除数が2位数の場合の除法の計算が、基本的な計算を基にしてできること。また、その筆算の仕方について理解すること。

### ◆ 評価の3観点における目標

#### 【知識・技能】

- 2けたでわるわり算の筆算ができる
- 商の見積もりを立てて計算できる
- 余りの確かめができる

#### 【思考・判断・表現】

- 商を見積もる方法を説明できる
- わられる数が大きい場合も手順通り計算できる
- 計算の仕方を考え、説明できる

#### 【主体的に学習に取り組む態度】

- 既習の計算を使って考えようとしている
- 見積もりの大切さに気づいている

## ◆ 指導上の留意点

### 1. 商の見積もり

- 23で割るとき、20で見積もって商を立てる
- 商が大きすぎたら1小さく、小さすぎたら1大きく修正
- 「仮の商」と「本当の商」という考え方

### 2. 筆算の手順

- たてる →かける→ひく→おろす(1けたの時と同じ)
- 余りがわる数より小さいことを確認
- 商が2けた以上になる場合の処理

### 3. つまずきやすいポイント

- 商の見積もりが難しい(23で割るのに30で見積もるなど)
- 商が大きすぎて引けなくなる
- 商が小さすぎて余りがわる数より大きくなる
- 3けた÷2けたで商の位置を間違える

## ◆ プリント作成時の配慮事項

1. 段階的な難易度: 2けた÷2けた → 3けた÷2けた
2. 見積もりの練習: 商を予想する問題
3. 確かめ算: 余りの確かめを忘れずに
4. 文章題: 「何人に分けられる?」など
5. 間違い探し: よくある間違いパターンを提示